

公契約条例を制定しては

地元業者への受注に努め、 ワーキングプアを防いでいます



名取 武一 議員

質問：官製ワーキングプア根絶のための公契約条例を制定しては。
答弁：価格に関しては、国、近隣市町村、市場の標準価格が算出され予算が組まれます。町では総合評価制度で貢献ポイント等を鑑み、適正価格、地元業者中心の受注に努め、ワーキングプアを防いでいます。

質問：子宮頸がんワクチンは、初年度中学生女子全員への実施を。
答弁：限られた財政の中で小児科学会等の推奨する接種効果が一番期待できる中学一年生女子に限定します。
質問：町独自の子育て支援制度、児童手当を元に戻す考えは。
答弁：国の子ども手当による支援は2億円を越え、目的に合致した内容になっています。児童手当廃止で財源を約3百万円増額して、1千万円を未満児保育に計上しました。



昭和48年建設の井戸尻考古館

井戸尻考古館を南中跡地に 建て替え移転をしては

莫大なお金が必要です



平出 英夫 議員

質問：井戸尻考古館の耐震診断の結果は。
答弁：耐震診断はしていません。昭和48年に建てられており、診断すれば間違いなく問題があります。
東海沖地震が20年以内に90%の確立で起こると予測されています。井戸尻遺跡の周辺は震度5との推定ですので、当面は

展示物の耐震強化に全力をあげます。

質問：南中跡地に建て替えるとしたらどうか。

答弁：建て替え費用の見積もりをしましたら、15億円かかるということで、今の町の財政ではとても無理です。南中跡地への移転案は良い考えですが、費用面から相当の年月をかけなければできません。南中の跡地利用については近々の課題であり、協議会を立ち上げて検討中です。1、2年の内に結論を出して施設化に取り組んでいきます。

□その他の質問

*子育て支援策について

10人の議員がただしました